

「こんなはずじゃなかったのに…」を避けるために
クリアすべき課題が明確になるセルフチェックシート

ポイント 1.税務のキホンのキ

□開業時の届出書は提出したか？

☆個人事業主の届出	☆法人の届出
①開業届 ・提出先…納税地の税務署 ・提出期限…事業開始から1ヵ月以内	①法人設立届 ・提出先…納税地の税務署、都道府県、市区町村
②青色申告承認申請書 ・提出先…納税地の税務署 ・提出期限…開業した年の3月15日まで(1月16日以後開業した場合には2ヶ月以内)	②青色申告承認申請書 ・提出先…納税地の税務署 ・提出期限…設立から3ヵ月以内

□納税地は住所地、居所地、事業所地の中から適切なものを選択したか？

場合によってはバーチャルオフィスを事業所地として選択する

□許認可に関する届出が必要か確認したか？

飲食店業なら営業許可の申請、建設業なら建設業の許可申請など業種によって異なる。

□給与を支払う場合、次の届出は提出したか？

- ・ 給与支払事務所等の開設届…納税地の税務署、開設から1ヵ月以内
- ・ 源泉所得税の納期の特例の承認に関する申請…納税地の税務署、提出の翌月から適用
- ・ 労働保険 保険関係成立届…労働基準監督署、労働保険関係成立の日から10日以内
- ・ 雇用保険 適用事業所設置届…公共職業安定所、設置の日から10日以内
- ・ 健康保険・厚生年金保険新規適用届…年金事務所、事実発生から5日以内

□確定申告義務があるかどうか確認したか？

- ・ 給与所得がある人…給与以外の所得の合計が20万円を超える場合確定申告義務あり。
- ・ 給与所得がない人…事業所得があり、所得控除を引いても所得が残る場合申告義務あり。

ポイント 2.経理のキホンのキ

□仕事でもプライベートでも使う家事関連費を経費計上したか？（個人事業主）

☆家事関連費の例

家事関連費の種類	経費計上割合の例
自宅兼事務所（賃貸）の家賃、火災保険料	床面積、使用時間
自宅兼事務所（持ち家）の減価償却費、固定資産税、火災保険料	床面積、使用時間
自宅兼事務所の電気代	床面積、使用時間、使用量
自宅兼事務所の水道代、ガス代	使用量
スマホ、固定電話、Wi-Fiなどの通信費	利用明細、利用時間、利用日数
車の減価償却費、保険料、ガソリン代、駐車場代、車検代他	走行距離、使用日数

□仕事関係の飲食代は経費計上したか？

- 経費計上割合で分けることが難しいので、100%計上するか計上しないか。（個人事業主）
- 法人は相手先と内容の他、参加人数も記録しておく。（1人5,000円以下の判定のため）

□会計ソフトはクラウド型のものを選択したか？

大手3社のおすすめ順位

- 1位.マネーフォワード
- 2位.弥生
- 3位.freee

□記帳代行会社や税理士の利用を検討したか？

☆判断する3つのポイント

1. 会計や確定申告に慣れているか
 2. 自分の時給はいくらか
 3. 簿記・会計の勉強をしたいかどうか
- ※ 法人の場合は最初から税理士に依頼する。

ポイント 3.起業のキホンのキ

□副業の場合、会社の許可は取れているか？

※ 次の2点も要注意

① 住民税を自分で納付するよう、確定申告書第二表の書き方に注意。

確定申告書の第二表→住民税・事業税に関する事項→給与・公的年金等以外の所得に係る住民税の徴収方法→自分で納付に○をつける。(特別徴収に○をつけると会社の給料から特別徴収される)

② インボイスの発行事業者登録をすると、氏名が国税庁の「適格請求書発行事業者公表サイト」に公表されるので注意。

□個人事業主か法人か、どちらで起業すべきか検討したか？

おススメは個人事業主だが、法人で起業するメリットも大きい。

☆個人事業主の主なメリット

- 所得が小さいうちは税金が安い。
- ランニングコストも安い。
- 廃業も簡単。

☆法人の主なメリット

- 所得が大きくなると、税金が安くなる
- 社会的信用が大きい
- 管理がしやすい
- 利益の分配がしやすい
- 節税や相続対策もしやすい

□法人で起業する場合、株式会社か合同会社のどちらにするか検討したか？

☆株式会社

役員と株主が別。所有と経営が分離できる
資金調達や利益の分配、相続対策などがしやすい
社会的信用が大きいが高コスト

☆合同会社

社員=出資者。所有と経営が分離できない
社会的信用は若干小さいがコストは安い
銀行口座開設のハードルも株式会社より高い

□創業融資は検討したか？

- 日本政策金融公庫 or 金融機関+信用保証協会の協調融資
- 必要な自己資金の目安は融資額の1/3~1/4
- 税理士や中小企業診断士に融資申請を依頼するときも、事業計画は自分で考える